



6月号

# 学校だより

平成29年 6月 1日

さいたま市立植竹小学校

〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1

TEL 048-663-7627

FAX 048-663-9885

児童数 1年126名・2年138名・3年122名・4年134名・5年126名・6年137名・7組18名 計801名

学校教育目標

○すすんでまなぶ子

○たすけあう子

○げんきな子

## いじめ撲滅強化月間

校長 鯨井 幹夫



先日の運動会では、たくさんの保護者、地域の皆様の熱い声援のおかげで、子どもたちは全力を出し切って演技や競技に取り組むことができました。応援、ありがとうございます。一人一人が、そしてチームが一丸となって一生懸命取り組んでいる姿は、見ている者を感動させてくれました。「一生懸命な姿は美しい」、行進も、演技も、競技も、応援合戦も、クローバーズの演奏も、「全力」で何の濁りもない純真な気持ちが見事に表れてい

ました。支えていただいた皆様に心より感謝申し上げます。

さて、6月は「いじめ撲滅強化月間」です。道徳の授業をはじめ、いじめ撲滅に向けた学級スローガンづくりや、児童会によるキャンペーンの展開、簡易アンケートの実施など、全校をあげて取り組んでいきます。以下に6月の講話朝会で取り上げるお話の一部を紹介します。

みなさん、独りぼっちな寂しさって知っていますか？

みんなが無視をする。みんなに笑われる。見て見ぬふりをされる。だれも助けてくれない。仲間外れにされる。そんな寂しい思いをした人が少なからずいるはずですよ。独りぼっちな寂しさに、苦しんだことがあるという人がきつというはずですよ。

たとえば、人は、間違えたり、ルール違反をしてしまったり、いけないことを言ってしまったたり、いくつもの失敗をします。もちろん失敗した本人は反省しなければなりません。

でも、そんな失敗を、みんなで責めていいのでしょうか？ だからいじめてもいいのでしょうか？ そんなことは絶対にありません。(中略)

何かのきっかけで、何かの原因で、独りぼっちな寂しい思いをしている人、いじめられてつらい思いをしている人がいたら、大人や先生に助けを求めよう。そして、みんなが無視をしたり、笑ったり、見て見ぬふりをしている友達をもし見かけたら、一人でもいいから勇気を出して、声をかけてあげよう。

だれもが、「いじめは絶対にいけないこと」ということは、頭ではわかっているはずですよ。でも、頭でわかっているだけではいけないのです。

大事なことは、クラスの中で「独りぼっちなをつくらない」ということです。友達を大事にすることが、クラスの仲間を大事にし、そして、自分を大事にすることにつながるのです。

思いやりは、友達のためだけじゃない。自分のためでもあるのだという思いをもって、植竹小学校を思いやりの、いっぱい、いっぱいあふれる学校にしましょう。そして、笑顔あふれる学校にしましょう。

それが、いじめのない学校にするための近道だと思っています。みなさん、よろしくお願ひします。

学校ではたくさんの友だちが生活しています。その友だちと関わる中では、気持ちのすれ違いが起こることがあるし、嫌な思いをすることもありますが。それらは人間関係の中で乗り越えていくべき経験であるかもしれません。でも、いじめだけは許されません。そのために全校で取り組んでいきます。

いじめを許さない心、人に助けを求める勇気、友だちを大事にする心、つらさに共感できる心など、すぐに身に付くものではありませんが、みんなと同じ方向を向いて一步一步進んでいけばきっと実現できるものと信じています。また、植竹小学校には「いじめ対策委員会」があります。担任や学年だけでなく学校全体で、ときには外部の方も含めて対応しています。いつでも相談してください。学校と保護者、地域とが手をとり合っていじめ防止に取り組んでいきたいと思ひます。ご家庭におかれましても、いじめの被害者、加害者を出さないようにするため、アンテナを高くして見守り、連携くださいますようお願いいたします。